

第 98 春季年会「優秀講演賞（産業）」表彰

産学交流委員会

日本化学会産学交流委員会では、平成 8 年度開催の第 72 春季年会から若い世代の講演発表者の研究活動の奨励を目的として「講演奨励賞」を、平成 20 年度からは「優秀講演賞（産業）」と改称して講演発表者を顕彰してきました。平成 24 年度からは、対象をアドバンスト・テクノロジー・プログラム(ATP)で実施される ATP ポスターに限定して、審査・選考、表彰を行ってまいりました。

この「優秀講演賞（産業）」は、「産業に対する寄与が期待される基礎的または応用的な概念、アイデア、実験手法、実験結果などについての発表であり、発表者の研究に対する主体性や貢献度が優れ、且つ今後の研究活動の一層の発展の可能性を有すると期待されるもの」に対して会長名で表彰するものです。

3 月 20 日(火)～23 日(金)に日本大学理工学部船橋キャンパスで開催された第 98 春季年会では、審査希望のあった若手研究者（40 歳以下の正会員および学生会員）の講演を対象に産業界の審査員が審査しました。ATP 企画小委員会および産学交流委員会による厳正な選考の結果、申請のあった 86 件の中から今年度の受賞者として下記の 5 名が選出されました。高い評価を得て表彰に値すると選考された受賞者には、その栄誉をたたえ、さらに一層の研鑽を積まれますことを期待して、所属機関長を経由して表彰状をお届けしました。

優秀講演賞（産業） 受賞者一覧

[エネルギー]

- ・ 秋田 郁美 氏（北海道大学 大学院工学院・M2）
1PC-002「電子線トモグラフィによるソフトな有機-無機複合ナノ材料中の光エネルギー伝達反応の実空間解析」

[資源・環境・GSC(Green Sustainable Chemistry)]

- ・ 兼賀 量一 氏（産業技術総合研究所 創エネルギー研究部門・PD）
1PC-042「アミド配位子を有する Ir 触媒による CO₂ とギ酸の相互変換」

[新素材]

- ・ 松本 憲志 氏（京都大学 化学研究所・D2）
1PC-067「第三元素添加による新奇規則化合物相 Fe-Pd ナノ粒子の創製」

[通信・エレクトロニクス]

- ・ 川上 雄介 氏（株式会社ニコン 研究開発本部・主任研究員）
1PC-103「Additive 型 RtoR 微細配線形成技術にむけた光応答性表面処理材料の開発とイメージング質量分析評価」

[医療・ヘルスケア・バイオテクノロジー]

- ・ 吉住 年弘 氏（東京医科歯科大学 生体材料工学研究所・特任助教）
1PC-129「揮発性バイオマーカーのセンシングによる医療診断を指向した電界効果トランジスタ型ガスセンサーの開発」